

# 相武台周辺地域小・中学校の 学習環境のあり方検討協議会

ニュース

平成 31 年 2 月発行  
相武台周辺地域小・中学校の  
学習環境のあり方検討協議会

第 2 号

## 第 3 回検討協議会で話し合ったこと（1 月 1 8 日開催）

第 3 回検討協議会では、相武台周辺地域の小・中学校の現状と課題について、前回行ったグループワークでの意見を取りまとめ、委員の選出母体で集約した新たな意見の発表を行いました。

これらの意見を踏まえ、議論を進める上で大切なことを 9 つの項目に論点として整理し、今回は「望ましい学校規模（小学校のクラス数）」について、検討（グループワーク）を行いました。

### 各団体からの意見

・ P T A の本部会で話をしたところ、これからの子ども達にとって、より良い環境を地域と P T A が協力して作っていくのが一番だという意見が多かった。過小規模とか、学級数であるとか以前に、子どもが安心して通えるような学校を目指してほしい。

### 議論する際に大切なこと（論点整理）

望ましい学校規模  
小中一貫教育の実施  
通学環境（学区）  
学校施設、学校給食について  
放課後や土日、休日の子どもの居場所について  
子どもの見守りや子育て支援の担い手について  
公民館事業等について  
地域行事について  
災害時取組について



### お知らせ

「相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会ニュース」は、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校、相武台中学校の保護者の方に配付し、相武台地域の自治会に回覧しています。

検討協議会の結果概要と資料は、市の行政資料コーナー、相武台公民館、相武台小学校、緑台小学校、もえぎ台小学校、相武台中学校でご覧いただけます。

## 望ましい学校規模（小学校のクラス数）について

### 現状と今後予測される学級数に対する意見 【1～2学級】

#### 良いと感じることなど

- ・少人数だと、ある程度子ども個性などに対応できる。
- ・1クラスだとまとまり、団結力を感じる。
- ・2クラスでも行事（運動会等）は学年で動く。勉強は2クラスで少人数の方が良い。
- ・1クラス30人くらいまでなら、先生の目が行き届く。
- ・保護者の関わりが強いように思う。

#### 不安に感じることなど

- ・人間関係が固定化しやすい。
- ・合わない子どもがいた場合、1クラスだと変えようがない。
- ・1クラスだと、クラスが団結して行うことなど、チームワーク作りに欠ける。
- ・2クラスから、次年に1クラスになると、親子共々慣れるまでに時間がかかる。
- ・学校行事を行う時、盛り上がり欠ける。

### 市基本方針に基づく望ましい学校規模に対する意見 【3～4学級】

#### 期待することなど

- ・学力、運動能力その他のスキルを向上できる（ライバルの出現）。
- ・コミュニケーション能力が向上する。
- ・クラス対抗の楽しさ、行事の楽しさがある。
- ・先生の人数が増え、充実した学習が期待出来る。
- ・友達の輪が広がる。

#### 不安に思うことなど

- ・学校の遊具など、なかなか自由に使えなくなる。
- ・学年が3～4クラスだと、全学年の人を覚えることができない。
- ・同じクラスにならない人もいる。
- ・人間関係のトラブルが増える。
- ・勉強の出来に差が生じ、先生のフォローが増える可能性がある。

#### その他

- ・「少人数の方が教員の目が届きやすい」という意見に対し、「目が届いて何をするか」が重要であり、人数より学校方針の方が重要ではないか」という意見がありました。

## 次回の予定について

次回の第4回では、「学区」と「小中一貫教育」の内容について、検討（グループワーク）を行います。

来年度以降、第2～4回のグループワークでの意見を踏まえ、相武台地域の子供達にとって望ましい学習環境について、具体的に検討を進めていきます。

#### 第4回検討協議会

平成31年3月26日（火）午後7時～

相武台まちづくりセンター

まちづくり会議室

#### 事務局（お問合せ先）

相模原市教育委員会 教育局 教育環境部 学務課

電話 042-769-8282（直通）